

図書だより

第4号
広報B部
2019.2.14

平成30年度 多読賞発表

個人部 *これ以外にもたくさん本を読んでください!!* 

- | | |
|-------------------------------------|-----------------------------------|
| 1 ²⁻² 鏡 翔太 さん
(153冊) | 4 ³⁻⁶ 神林 舞風 さん (106冊) |
| 2 ²⁻¹ 落合堂 憲 さん
(121冊) | 5 ²⁻¹ 三浦 雛 さん (67冊) |
| 3 ²⁻¹ 佐藤 桃花 さん
(108冊) | 6 ²⁻¹ 大場 友紀乃 さん (45冊) |
| | 7 ²⁻¹ 武田 七星 さん (44冊) |
| | 8 ²⁻¹ 左竹 尊 さん (42冊) |
| | 9 ²⁻¹ 安藤 光彩 さん (41冊) |
| | 10 ²⁻¹ 佐藤 恵里奈 さん (38冊) |

クラスの部

4位
2-2 184冊

<平成30年>

1位	2-1	445冊
2位	2-7	239冊
3位	3-3	203冊

5位
1-6
170冊

おめでとう(≧▽≦)

多読賞者TOP3からのコメント

1位 2年2組 鏡 翔太 さん

2018年度多読賞1位を受賞させていただきありがとうございます。私はこの賞を受賞したことをとても光栄に思います。

私は、子供の頃から本が大好きで、色んなジャンルの本を、たくさん読むのがとても面白いです。特に将来に関わりそうなことや、小説を有名で、著者に関わらず探して読むのはとても面白いです。皆さんも、たくさん本を読んでみてください。とても楽しいです。

2位 2年1組 落合堂 憲 さん

昨年度に引き続いて今年度も多読賞を受賞することができ、非常に光栄です。ただ、昨年度は1位だったのに対して、今年度は2位という結果でした。2年生になったことで1年生の時よりも忙しくなり、その結果図書室を訪れる回数も少なくなりました。しかし私は順位がどうあれ、多読賞を受賞できたことで満足しています。しかし、来年度はもう少し多くの本を読んでみたい、とも思っています。上山明新館の図書はどれも読みごたえがあって面白いので、皆さんもぜひ読んでみてください。

3位 2年1組 佐藤 桃花 さん

多読賞3位を頂きとてもうれしいです。読書をしていると自分の考えを深めることができし、心を落ち着かせることができるのでとても良いです。これからも本をたくさん読んで新しい発見をしていきたいと思います。

私の最近のオススメは荒川弘さん著の『百姓貴族』です。

多読賞を受賞した皆さんおめでとうございます!

1位~10位に該当した皆さんには図書カードが贈呈されます。

※全員が3冊以上借りたクラスには生徒全員に副賞が贈呈される予定でしたが、今年度は該当クラスはありませんでした。

学習センターから大事なお知らせ

- ・1・2年生の貸出は 2月28日(木) で終了です。
- ・返却は 3月5日(火) までです。
- ・3月は蔵書整理のため、終日閉館になります。

借りた本は
必ず返却して下さい。

今年1年間で一番面白かった本は？

多読者さんに聞いてみた!!



私が今年読んで一番面白かった本は、アガサ・クリスティー著の『そして誰もいなくなった』です。

理由は、人が一人ずつ死んでいく中で、疑心暗鬼になっていく登場人物たちの会話や最後の場面がとても面白かったからです。

多読賞1位 2年2組 鏡 翔太



私が今年度最も面白かった本は、『JORGE JOESTAR (ジョージ・ジョースター)』という本です。この本は、人気漫画『ジョジョの奇妙な冒険』シリーズのスピノフ小説で、カナリア諸島育ちの少年ジョージ・ジョースターと日本の少年探偵ジョージ・ジョースター、二人の主人公を中心に物語が進んでいきます。二人のジョージはどちらも特別な力は持っていませんが、自らの技術や頭脳、そして勇気を頼りに運命を切り拓いていきます。『ジョジョ』の予備知識があると、更に楽しめると思います。

多読賞2位 2年1組 落合堂 憲



私が今年一番面白かった本は『ぼくらと駐在さんの700日戦争』です。この本は田舎町に住むヤンチャ男子高校生と、町の駐在さんが繰り広げるイタズラ合戦な物語です。この本は友達に薦められて読み始めたもので、全二十五巻あるのですが一気に読み終えてしまいました。おもしろい人におすすめの本です。

多読賞3位 2年1組 佐藤 桃花



私が今年最もおもしろいと感じた本は、恩田陸さんの『私の家では何も起こらない』である。「私」は特に変わったこともなく、健やかに毎日を過ごしている。家族にも友達にも恵まれ、幸福に満ちている。しかし、それは本当に起きていることなのだろうか。家は、本当は荒れ果てた空家なのかもしれないし、家族も友人も、自分で作り上げた幻で空になったペットボトルを相手に話をしているのかもしれない。正常だと思ってるだけなのでは？そもそも正常とは一体何を基準としているのか？

読了後、決まってそのような考えに陥る。「私の家では何も起こらない」。何も起こらない？いや起きている。この家ではいつも何かが起きている。住人達にとってはその何かが起きている状態が日常の一部なのだ。彼らにとっての正常とは、私達にとっての異常なのである。

はっきりと書こう。登場する者は皆狂っている。読むことができる者だけ読むといいと思う。

多読賞4位 3年6組 神林 舞風

私がオススメする本は、三浦拳さん、三浦月さん著書の『自分らしさでお客様を引き寄せる「自分ブランド」の作り方』です。

SNSを活用したブランディングの方法やアドバイスだけでなく自己理解を通してブランディングを確立させるワークシートもついているので、何度でも読み返し考えることができる本です。起業家に向けての本になっていますが、所々に可愛くわかりやすいイラストも入っているので高校生でも読みやすいと思います。ぜひ読んでみてください。

多読賞5位 2年1組 三浦 雛

私が今年読んだ本の中で特に印象深かったのは、上橋菜穂子さんの『獣の奏者』です。主人公エリンが様々な逆境に立ち向かいながら成長していくストーリーに深く感動しました。長編小説で外伝あわせて5冊ですが飽きずに読むことができました。

多読賞6位 2年1組 大場 友紀乃

渡辺和子さんの『置かれた場所で咲きなさい』という本が、とても印象に残りました。この本を読むことで、勇気がもらえたり、新しいものの見方を知ることができます。また、自分自身を見つめ直すきっかけにもなります。読書が苦手な人でも読みやすい本なので、是非一度読んでみてください!!

多読賞7位 2年5組 武田 七星

私が今年1年間で一番おもしろいと感じた本は、『スマホを落としただけなのに』です。スマホを落として個人情報の流出、命を脅かされるという流れを書けるのは、現代だからだと思います。身近にあることなのでスマホの紛失には気をつけたいといけなかつたと思います。

多読賞8位 2年7組 佐竹 尊

私が今年1年間で一番面白かった本は、湊かなえさんの『リバーズ』です。数年前にドラマにもなったので、知っている人も多いと思います。最後の最後までわからない結末。読めば読むほど、先が気になる、とても魅力的な作品です。

多読賞9位 2年4組 安藤 光彩

今年1年間で一番面白かった本を一冊選べと言われると迷いますが、『コーヒーが冷めないうちに』が今年一番泣けた本ということだけは言えます。私個人、ネタバレは好きじゃないので詳しくは言いませんが、一冊に4つの話があり、普段読まない人でも読みやすい本だと感じます。映画もあるので、映画を観てから原作を読んでみるのもアリだと思います!

多読賞10位 2年7組 佐藤 恵里奈

